

院内トリアージ実施基準

<院内トリアージについて>

当院は祝日・休日診療を行っている特性上、緊急度の高い患者様が来院される場合があります。すべての患者様が安心できる質の高い医療を提供するため、診療体制を一層強化し、適切に優先度を判断できる仕組みを整えて参ります。その一環として、「院内トリアージ実施料」を算定いたします。

院内トリアージとは、緊急度の高い患者さんを優先して診療する体制のことです。院内トリアージを導入することで、患者様の症状を見極めて、適切な医療を適切なタイミングで提供することが可能になります。

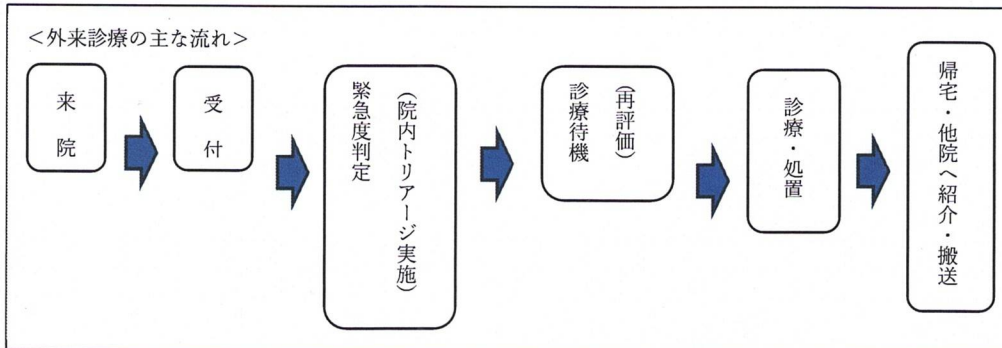
自己負担割合は下記の通りとなりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ 3割 900円
- ・ 2割 600円
- ・ 1割 300円

- ・ 対象患者：救急患者
- ・ 対象時間：祝日・休日及び、夜間・深夜
- ・ 目的：患者の来院後、速やかに患者の状態を評価し、多数の患者を緊急度により区分し、治療優先などを決定することを目的とする。

・主なフロー

- ①受付時に現在の症状や受診理由を確認
- ②医師もしくは看護師が呼吸、循環、意識レベルを評価する
- ③トリアージ分類表（JTAS）に基づいて緊急度を判定する。
- ④待ち時間に応じて再度トリアージを行い、状態の変化を判断する。
- ⑤診察・処置
- ⑥帰宅・他院へ紹介・搬送



トリアージ区分 緊急度レベルに分類（JTAS 参考）

緊急度レベル	状態	再評価
蘇生	生命または四肢を失う恐れがある状態（または差し迫った悪化の危険がある状態）であり、積極的な治療が直ちに必要状態	治療の継続
緊急	潜在的に生命や四肢の機能を失う恐れがあるため、迅速な治療が必要な状態	15分毎
準緊急	重篤化し救急処置が必要になる潜在的な可能性がある状態	30分毎
低緊急	患者の年齢に関連した症状、苦痛と感ずる症状、潜在的に悪化を生じる可能性のある症状で、1～2時間以内の治療開始や再評価が望ましい状態	1時間毎
非緊急	急性期の症状だが緊急性のないもの、および増悪の有無にかかわらず慢性期症状の一部である場合	2時間毎

2026年2月2日 作成
医療法人社団ゲズントベルク
たちばなメディカルクリニック
理事長 立花正史

※なお、この実施基準は検証結果をもとに、見直し行う事とする。